

IV 先端医療による社会貢献

1 地域に根差した質の高い医療人の育成

医療機関に求められている「働き方改革」、長崎県が抱える「医師・看護師の不足、高齢化」へ対応すべく、地域医療を支える質の高い医療人を育成するとともに、国際貢献にも寄与する。

- **特定行為研修の指定研修機関として、高度な看護実践能力を持つ人材を育成**
 - ・ 特定行為（実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能を習得したものが実施する医行為）を実施できる看護師の指定研修機関として、本院のみならず、他医療機関の看護師も積極的に受入れ、高度急性期から在宅医療までをカバーする質の高い看護師を育成。
- **長崎医療人育成室（N-MEC）を充実させ、地域中核病院等が抱える課題を解決**
 - ・ 2018年より実施している長崎医療人育成室（N-MEC）の拠点を更に増加させるなど事業の継続・拡大を図り、医師・看護師不足、医師の高齢化及び研修医増加に伴う研修病院不足へ対応。
- **医師の地域偏在の解消とキャリア形成支援、離島・へき地の医師確保**
 - ・ 県内の医師不足の状況を把握・分析し、医師のキャリア形成支援と一体的に医師不足病院の支援等を行う「ながさき地域医療人材支援センター」や、長崎県からの委託事業として離島・へき地における医師の確保や代診医の派遣等を行う「長崎県離島・へき地医療支援センター」の取組を通じて、医師の地域偏在の解消、地域医療の安定化に貢献。



上五島病院外来研修へ向かうヘリ

2 高度先端医療の研究・開発

長崎県内唯一の特定機能病院として、高度で先進的な医療を開発し提供する。

- **精密で安全性が高く、体に優しい手術を提供するために、最先端のロボット支援手術を拡充**
 - ・ 県内で唯一導入している手術ロボットについて、最新機器への更新と台数の増加により、対象となる適応疾患を拡大し、地域医療へ貢献。
- **がんゲノム医療拠点病院として県内の連携病院とのネットワークの拡大強化**
 - ・ 厚生労働大臣が指定する「がんゲノム医療拠点病院」として、離島地域を含めた県内全域で最先端のがんゲノム医療が受けられるよう、県内の連携病院とのネットワークを拡大強化。
- **人工知能（AI）を利用した医療の質と安全の向上及び医療現場の負担軽減を推進**
 - ・ 富士フイルム株式会社とのAI技術を活用した術後遺残物確認支援技術に関する共同研究において臨床研究を行うなど、外科医の作業負担軽減や効率化を推進。
- **臨床研究中核病院の認定を受け、質の高い臨床研究や治験を推進**
 - ・ 日本発の革新的医薬品、医療機器及び医療技術の開発などに必要となる質の高い臨床研究を推進するための中心的役割を担う「臨床研究中核病院」として厚生労働大臣の認可を受け、臨床研究、医師主導治験を加速。

3 社会的要請の強い医療の充実

社会のニーズを的確に捉え、それに応える医療提供体制を整備するとともに、先進技術を活用した医療の充実を図る。

- **大規模なPCR検査センターを設置し、検査を必要とする県民が遅滞なく検査を受けられる環境を整備**
 - ・ 国や県の補助金や寄附金を活用して、PCR検査の全工程を自動化させることで、1日最大千件以上の検査実施体制を構築するなど、県内のコロナ対策を積極的に牽引。
 - ・ 長崎県医師会と連携し、県内の医療機関から検体を搬送できるネットワークを構築。
- **ローカル5Gを用いた遠隔診療支援システムの高度化に取り組み、離島へき地医療の充実に貢献**
 - ・ 総務省が実施する「地域課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」に候補案件として選定された、長崎大学病院及び長崎県五島中央病院等におけるリアルタイム遠隔診療支援システムの高度化に向けた実証実験を、運用へと展開。
 - ・ 専門外来や手術・救急医療の現場において、ローカル5Gを用いた本院の臓器別専門医による遠隔サポートを実施。